

■中国：2010年1月～9月の電力需給状況

中国電気事業連合会は2010年10月20日、1月～9月の電力需給状況を発表した。1月から9月までの全国消費電力量は3兆1,442億kWhで、内訳は、第一次産業766億kWh、第二次産業2兆3,397億kWh、第三次産業3,398億kWh、家庭用3,881億kWhであった。また、9月の消費電力量は前月比12.0%減の3,498億kWhで、重工業の消費電力量は前月比17.3%減の1,939億kWhとなった。これは、政府による経済マクロコントロール政策の影響と見られる。1月～9月の発電電力量（注：6,000kW以上の発電所）は前年同期比16.1%増の3兆906億kWhで、内訳は、水力が同13.4%増の4,998億kWh、火力は同16.1%増の2兆4,824億kWh、原子力は同2.1%増の527億kWhであった。1月～9月の発電設備の稼働時間は前年同期間より197時間多い3,540時間。その内、水力発電設備は11時間減の2,660時間、火力発電設備は290時間増の3,802時間であった。電源投資額は2,311億元で（水力466億元、火力868億元、原子力432億元、風力534億元）であった。1月～9月までに新規運開した発電設備容量は4,713万kW、内訳は水力1,098万kW、火力3,479万kW、原子力108万kW、風力494万kW。流通設備への投資額は1,977億元で、220kV以上変電設備14,746万kVA、送電線路25,139キロメートルが新たに建設された。